

退官記念講演会 (最終講義)

来聴
歓迎

医生命システム学科
名物教授達のお話が聴ける
最後の機会

井原康夫 教授



神経原線維変化の主成分がタウタンパク質であることを世界で初めて同定し、アルツハイマー病で業績を挙げた研究者に贈られるPotamkin Prize (米国神経学アカデミー)を1995年、日本人で初めて受賞。

高橋智幸 教授



シナプス伝達の細胞分子メカニズムを研究に従事。神経情報を直接記録できる脳スライスパッチクランプ法を開発した一人。Scienceを初めとする国際学術雑誌のエディターを務めた世界屈指の研究者。

日時 2015年2月24日 (火)

15:00～16:30

場所 同志社大学京田辺校地
夢告館 102教室

問い合わせ先
舟本 sfunamot@mail.doshisha.ac.jp
齋藤 nasaito@mail.doshisha.ac.jp